

伝えなければならないこと

「とことん語る福島事故と原子力の明日」を出版しようということになり、報道でも色々な情報が発表され、政府事故調の中間報告も2011年の年末には発表されるが、事故の概要を分かりやすく記載した出版物がないので、詳細議論の前提に事故の概要を記載しようと云うことになった。

当時分かっていた情報を基に、事故の経緯をなるべく分かりやすく記載し、学生からの質問等を参考に、多くの国民が疑問に感じるであろうことについてQ&Aを掲載することとした。

ICが開いていないことに何故気が付かなかったのか、何故炉心への冷却水注入が遅れたのか、炉心は十分に冷却水が供給されていたのか等多くの疑問は解決されていなかったが、当時、分かる範囲の情報を基に事故の概要が記載できたものと考えている。

事故の経過を見るにつけ、全電源喪失に付いて多少とも危惧の念を持っていて、それにまがりなりにも対処する教育訓練を実施し、炉心の冷却が最重要項目であることがトップから運転員の隔々にまで徹底していればと悔やまれるところである。

2013年3月27日 第一章編集委員 益田恭尚